

難病・慢性疾患全国フォーラム 2024 実行委員会御中

メッセージ

疾病、障害があっても地域で尊厳をもって生活できる社会へと、制度の充実に力を尽くしてこられた皆様に敬意を表します。

難病法・改正児童福祉法が施行されもうすぐ10年がたとうとしていますが、多くの課題が残されたままです。医療費助成は難病患者すべてを対象とすること、低所得世帯、重症患者をはじめとした大幅な負担軽減、小児慢性疾病のトランジション問題、就労、福祉施策の拡充など、必ず解決すべき課題です。

今年のテーマである、「すべての患者・障害者・高齢者が安心して暮らせる社会」の実現は、すべての人たちの安心と希望につながります。当事者や家族に自助を強いるのではなく、命と暮らしを大切に、ケアに手厚い社会に切り替えることが今こそ必要です。

その実現に力を尽くすこととお約束するとともに、難病・慢性疾患全国フォーラムのご成功を祈念し、メッセージとします。

日本共産党参議院議員
倉林明子